

只見線バス代行区間の魅力をご紹介します!

みち 未知を探しに道歩き

ほんな #本名駅

このマップは、福島県立テクノアカデミー 会津観光プロデュース学科と小泉ゼミナールが只見線沿線の未知なる魅力を紹介するために制作したものです。



至会津川口駅

① <本名馬尺>

本名地区の集落の中を間近に突っ走るように只見線が走っており、馬尺がある集落の中にあるように位置しているのが興味深いです。

<地元の方にお話を伺いました>



(せつと共に中央が菅家さん)

本名の山杉を守ってきた菅家清彦さんに話を伺いました。

山のことにとっても詳しい方として、私たちが地元の方から紹介してもらったのが菅家さんです。本名地区の北側一帯の山杉は、木材として名高く、現役時代は、林業のやりかたとしていたそうです。旧本名小学校の校舎で使用されていた木材は、そのまま世田谷の幼幼園で利用されているそうです。

国道もしくは、旧道を約2kmほど奥に行くと湯倉温泉があります。(共同浴場あり)

御神楽岳に抱かれた、山杉の里を訪ねよう!

② <御神楽食宮>



御神楽食宮は、地域の為の多目的施設です。

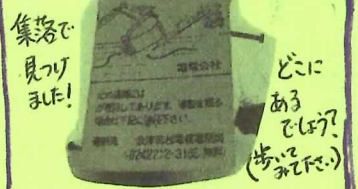
今は、廃校となった旧本名小学校の屋敷地に建てられ、名称の由来である御神楽食は、本名地区からは、見えずに、北西に位置し、会津の総真守である伊佐須美神社(会津美里町)の三所である神祀、た地域のシンボルでもあります。校歌にも登場して、ここから見る雪から読み取れる

③ <長い消火栓>

雪で埋まらないようにととても長い消火栓がここに見られます。いづき出身の私(本マップ作者)から見ると、とても珍しい風景です。



「ちょっと面白い」 <電線注意の看板>



この看板は、現在NTTグループの前身である「日本電信電話公社」の電話線注意看板です。略「電電公社」から「NTT」になったのは、1985年(昭和60年)の4月1日です。この看板は、1985年以前の看板のため、

④ <本名ダム>

第1只見川橋梁は、福島新橋梁災害で流され、今は、工事中です。

1954年(昭和29年)にできた水力発電ダムです。ダムの上を国道が通る珍しい仕組みですが、現在新しい国道を建設中のため、この風景が見られるのは、もうしばらくの間です。ダムからは、流失してしまった只見線の橋梁を見ることができます。



只見線バス代行区間の魅力をご紹介します！

みち 未知を探しに道歩き

みち #会津越川駅

このマップは、福島県立テクノアカデミー会津観光プロデュース学科 小泉ゼミナール 只見線沿線の未知なる魅力を紹介するために制作したものです。

新潟・福島豪雨災害の浸水状況が分かる

2011年7月の新潟・福島豪雨の影響により只見川が氾濫した結果、この地域は、多くの被害が発生しました。越川地区の各家屋には、写真のような当時の最高水位を示す看板が見られます。



懐かしさを感じられる田園風景と 住民の方々が丁寧に育てた花々が 彩る、美しい里。

① 会津越川駅・二荒神社



越川の中屋敷にある清原氏の邸宅跡。風景が素晴らしい。駅の先には、二荒神社がある。

戦後は、地区単位で奉納歌舞伎が行われていた。神社の隣には、様々な木が茂っており、木を見ることもできる。金山町の魅力が、手紙と糸まつり場所だ。

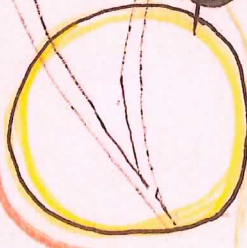


② 伊南川発電所



戦前(1938(昭和13)年に完成した水力発電所で、今も現役です！山の上部に位置する伊南川から109mの落差を利用して、最大19,400kwの発電を行い、水は、只見川に注がれます。完成当時は、大規模な発電所として知られ、約50人働いていました。現在は、無人運転となっています。

③ 吸沢林道のすばらしい自然



吸沢(さくざわ)の奥へと林道を進むと、1丁の音響する森があります。秋に訪れると紅葉と白いブナのコントラストが美しく、何時間でもいられるような気がします。ぜひ、(安全のため、ハイキングの装備を)していきましょう！

小泉ゼミナールでお世話になった齋藤勇一様のこと

長く私たちの調査研究を御支援いただき、越川集落にお住まいだった元金山町長の齋藤様。町長を引退された後も熱心に地域おこし活動に取り組みされておりました。2018年2月に急逝されました。私共は、齋藤様の御恩を決して忘れません。いよいよご冥福をお祈りします。



只見線バス代行区間の魅力をご紹介します！

みち 未知を探しに道歩き

よこた #会津横田駅

このマップは、福島県立テクノアカデミー会津観光プロデュース学科小泉セミナールが、只見線沿線の未知なる魅力を紹介するために制作したものです。

美しいブナの森に抱かれた、金山町西部(横田地区)の中心地域

① <会津横田駅>

会津横田駅は、集落から少し離れた場所にあります。駅の西側(北側)の上横田と言われ、東側(南側)の下横田と言われ、1km 弱離れたところが横田地区の中心で、小学校、役場の出張所、食堂などがあります。

② <民泊もどき家>



古民家も改築した農家民泊の「もどき家」は、団子裏を囲んで団子焼くひとときを楽しめることかてきます。アスパラなどの野菜収穫体験や冬には、わらわ作り体験も楽しめます。

③ <食堂 ひまと亭>



ホムレムのある定食とラーメンが人気のひまと亭は、お店の前通り、店内に入るとひまと亭の看板が飾ってあります。ちなみに、私は、会津名物の特製ソースかつ丼を頂いたのと同じ、アツアツでシロシロとて美味しくいただきました。ラーメンもいろいろ種類があります。金山町の特産品赤かぼちを使った赤かぼちラーメンがとってもユニークです。

⑤ <伊夜彦神社>



伊夜彦神社は、中洲にあるのが特徴的な神社です。天香山命(あまかみやまのみこと)を祀っており、新潟県にある弥彦神社の三本杉がそびえ立ち、子授けのご利益があると言われています。秋になるとイロウの葉が一面に降り積もり、幻想的な雰囲気に満ちることかてきます。

④ <渡部麴屋>

江戸時代末期より代々受け継がれてきた手法と素材より造る「くい味噌」や地元産の大豆・自家栽培米の米麹を土産天然水で丁寧に炊き上げ、煮汁たけであわせ土蔵で熟成させた「田舎くい味噌」があります。

この道を7km程上かると山入地区があります。ブナの美しい松木峠の麓にあり、江戸時代から続く農家歌舞伎を今に伝えている。51体の仏像が三連同列に並ぶ。また、磨崖仏も有る。農家民泊を営むお宅もありますので、ぜひ足を運んでみてください。



只見線バス代行区間の魅力をご紹介します！

みち 未知を探しに道歩き

おもしろ # 会津大塩駅



このマップは福島県立テクノアカデミー会津観光ポータルサイト「只見線3分線の未知なる魅力を紹介するため」に作成しました。

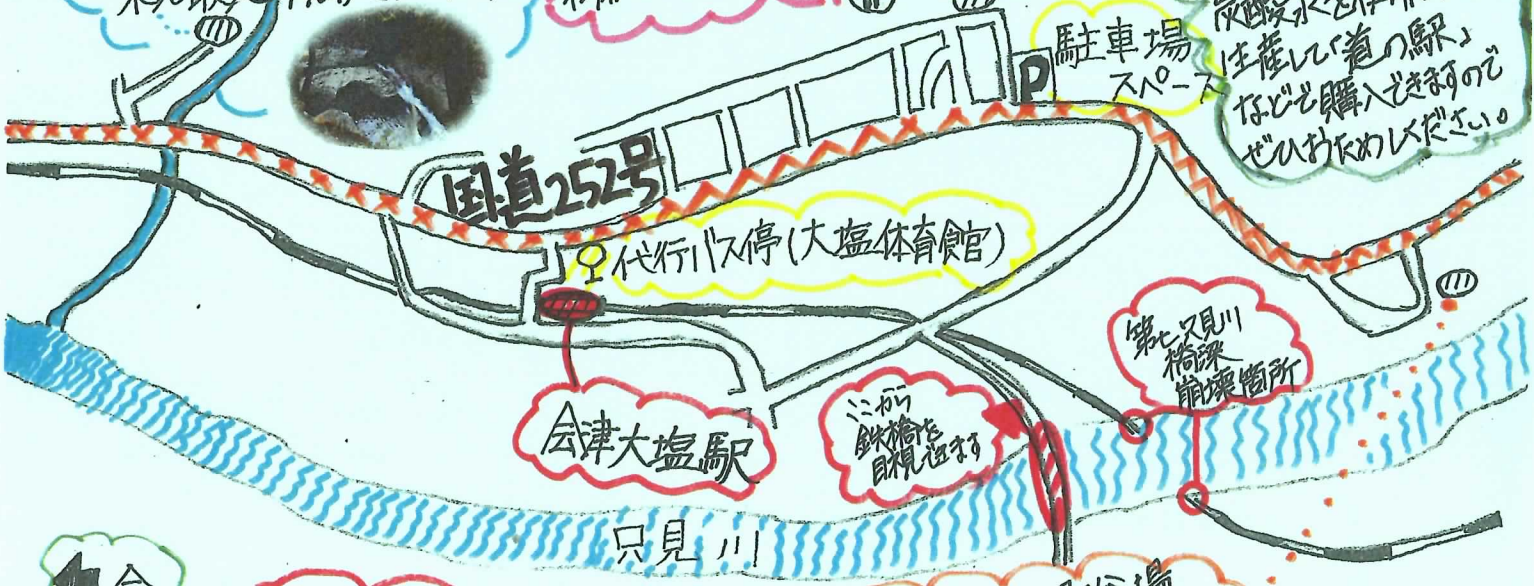
天然炭酸水の里
地元の水汲の場
&
製造工場
&
炭酸温泉を
訪ねてみよう！

大塩炭酸水(水汲み場)
無料の炭酸水汲み場です。
味は若干の鉄分とやわらかな
炭酸が感じられスッキリと
飲める炭酸水になります。

滝沢川のおり穴群
滝沢川のおり穴群
急流が長い歳月を
かけた刻んだ岩の回廊で
東北最大規模のものです。

宇奈物理神社
この神社の瓦前はニニシカ
はいれも珍しいものです。
立派なスギの木がそびえ立つ
荘厳な境内です。

ハーベスト大塩工場
炭酸水を使用した商品が
生産している道の駅
なども購入できるので
ぜひお出かけください。



会津塩沢駅方面

会津大塩温泉
昔から大塩は炭酸を含んだ
水が湧き出しています。
そのため温泉は天然炭酸温泉です。
心地よい肌への刺激がただけ
ではなく肌表面の汚れを吸着し
落としやすくする効果があります。

大塩温泉 共同浴場 料金
利用時間 ¥300円
4月~10月
AM7:30~PM9:00
11月~3月
AM8:30~PM8:00

温泉は鉄分がゆめど
炭酸も竹筒にいれ感じの
軟水が味わえます。
私たちも入浴体験したいけれど
とれなかったです。
地元の人も入浴しているの
ほっとして地元のひとと
交流したいわいかな？

会津横田駅方面



只見線バス代行区間の魅力をご紹介します！
みち 未知を探しに道歩き

しおざわ
会津塩沢駅

このマップは福島県五ツツカデミー会津
観光プロフェッショナル小泉世ナールが
只見線沿線の未知なる魅力を
紹介する下作成したものです。



政府軍と旧幕府軍の間を渡り
この地を駆け抜けた長岡藩士
河井継之助をしのが！

司馬遼太郎氏
(1968(昭和43)年刊行)が
描かれた時代を見据えた
先見性と実行性を有するが
ゆえ、最後には武士として
この地を駆け抜けた。
長岡藩士・河井継之助を
紹介する記念館・墓が
あります。

心を直に悟るなら
現在未来の仕合せあり
子々孫々にも栄えんし

LAST SAMURAI

侍



「学生村」って何ぞ
昭和の高度成長期、
夏休みに中心に都会の
大学生たちが喧騒と暑
大げんから逃れ、
自然豊かな地帯の集落
に滞在し、
勉強はごめん、
過ごしたのが
「学生村」です。
塩沢地区は
学生村に由来し、
現在も民宿を
営むお宅が
複数見られます。

只見川越え
はがめなる
塩沢集落
は絶景

ステップ1
司馬遼太郎を以て「最後のサムライ」と
言われぬ河井継之助の記念館・墓が
あります。
ほせ記念館があるが、語りと墓に祈り
にくる人たちのために継之助を伝説
外のトモたちに知り、つもるため設置されたもの...

ステップ2
継之助は現代日本の義理・人情
を志し、当面の私欲を求めず
目物りしている。やがて日本の
政治経済の核となるものを
潰すおぼれ。
義理とは人の道における正しい行い
そのものだ!!

ステップ3
人情は側徳の心が行ければ
ならない。うたがひの改革を
断行してはじめていける
が、
ほせならば
義理と人情を志すのが所長

河井継之助の生涯を学べば日本を改革できるかも？

只見線バス代行区間の魅力をご紹介します！

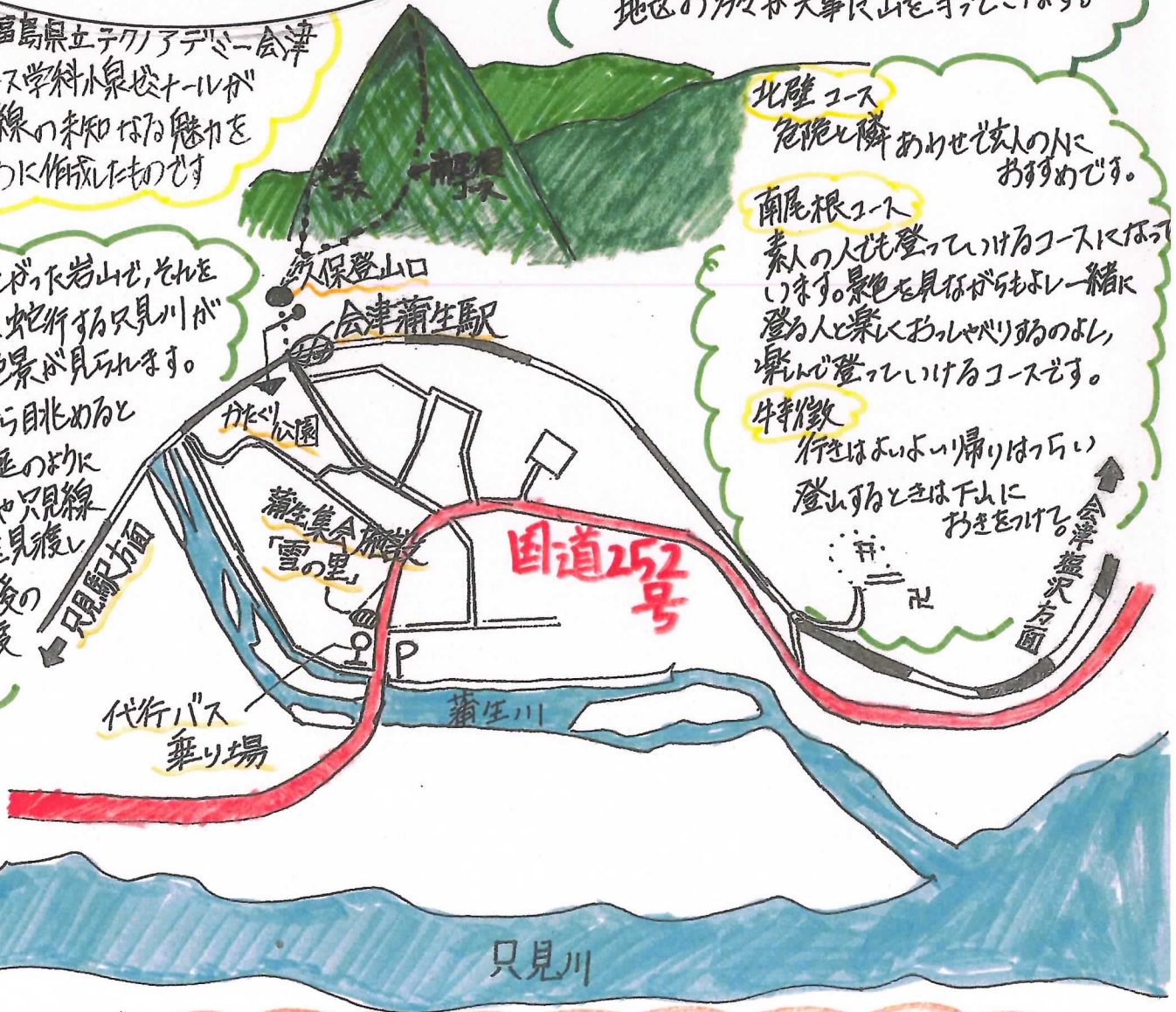
みち 未知を探しに道歩き

かもう # 会津蒲生駅

このマップは福島県立テクノアカデミー会津観光プロデュース学科小泉悠太郎が只見線沿線の未知なる魅力を紹介するため作成したものです

蒲生岳はとびつた岩山で、それを囲むように蛇行する只見川が作り出す絶景が見られます。

山の頂上から眺めると足元に箱庭のように広がる集落や只見線、田子倉ダムを見渡し、会津と越後の山が360度広がります。



「会津のmatterホルンの」の称される蒲生岳に抱かれた、美しい花の里

福島県出身の登山家、故・田部井淳子さんが「会津のmatterホルン」と称した。蒲生岳が地域のシンボルとなっており、地区の方々が大事に山を守っています。

北陸コース

危険と隣り合わせ登山の心をおすすめ。

南尾根コース

素人の人でも登っていただけるコースになっています。景色を見ながらおしゃべりしながら楽しく登っていただけるコースです。

牛車道

行きはよいよい、帰りはつらい。登山するときは下山にお気を付けて。



春に咲く朱色の蒲生岳を代表する花びら。田子倉のよい場所で見ることができます。



夏は白い花、秋には秋葉と赤い実を収穫してその実は果実酒にもなります。